

西村 あつ子

新型インフルエンザ 対策について

問 ①障害者自立支援法は施設の報酬額が日払い方式だが、集団発生時の運営が心配。②あいとぴあの休日診療の体制。③休日診療の検査キット・薬の備蓄状況。④12月のワクチン供給量は。

答 ①旧体系の施設報酬額を一定以上、下回る場合差額助成する事業を実施②10月中旬から受付2名、薬剤師3名に増③検査キット・薬とも一定量確保中④希望量の入荷はあるが従来からの積み残し分が不足。

子育て支援について

問 ①保育展は継続実施を②園庭芝生化の検討状況③病児保育室増設の検討状況④認証保育所の進級への現状把握⑤入所時に保護者に説明を⑥認可園は現行の最低基準を確保すべき。

答 ①来年も取り組んでいきたい②園長会議でも議論し、視察も行って③NPO法人等への視察結果、運営資金や方法等の検討を重ねている④事業者より説明を受けている⑤要請している⑥検討していく。

藤田 鋭

マンション管理への支援について

問 狛江市内の分譲マンションにお住まいの方は何棟・何人と認識しているか。また市として管理組合などマンション管理への支援策としてはどのようなものを用意しているか。また実績は。

答 棟数120、1万2000人以上が居住。マンション管理セミナーを16年度から5回。マンション管理相談を年4回。都で実施する専門相談とアドバイザー派遣制度を紹介。

石川 和広

異物混入事故が現在も続く中学校給食ボックスランチ事業について

問 ①いまだに具体的に出さずれている指示が守られず異物混入事故を起こしている調理委託業者をかえるべき。②文科省・都教育委員会にも危惧されている狛江市中学校給食の異物混入事故、市長の見解は。

答 ①いろいろ問題もあるが現時点では代替業者を見つけているが困難。②安全に向けての改善に全力を挙げなければならぬ。

亀井 和美

鳥取方式における芝生化事業の推進—こんなにすごい芝生のパワー—

問 ①とんぼ池公園、実証実験のスケジュール②校庭の芝生化、今後の予定は③園庭芝生化の必要性。芝生は大変というイメージに対する発想の転換、大胆な意識改革が必要。市長の芝生化に対する考えは。

答 ①4～5月にポット苗をつくり6月上旬に約30平方メートルに植栽し、9月完成予定。②芝生化の具体的な展開は予定していない。③導入を前向きに考え、市としてどう活用できるか検討していきたい。

佐々木 貴史

安全・安心なまちづくりについて

問 ①地域安全パトロールの課題は②市民が取り組むパトロール活動と関係諸団体との連携は③市内の犯罪を撲滅するため世田谷区や調布市で実施されている青色回転灯搭載車、青パトの巡回を実施すべき。

答 ①登録者の高齢化、実施者の拡大が難しい。現状維持も厳しい。②地域の交番、調布交通安全協会狛江支部との連携、協力体制がとれないか調整を進める。③検討している。



安心・安全は冷蔵庫から—高齢者への見守り、災害時にも大変有効

問 「救急医療情報キット」は、かかりつけ医や持病などの医療情報等を専用の容器に入れ自宅の冷蔵庫に保管しておくことで、万一の救急時に備える物。市として今後キットの導入に対する考え方は。

河西 かず

市民参加で緑の森を公園維持のためにアドプト制度の活用を

問 ①減少した緑化基金に頼らないで公園を維持するために市民力の活用を。アドプト制度はどの程度活用されているのか②活用されていない市有地を市民が記念樹を持ち寄ってつくる市民の森にはどうか。

答 ①清掃や除草等の作業を公園で6園3団体、その他5カ所5団体で実施している。②今後の課題と受けとめ参考にする。

正木 きよし

多摩川住宅イ号棟自治会による不正受給について

問 前議会以降の経過と市はどのような指導をしたのか。また、会則の見直し、再発防止策等4項目について今後の見通しと、いつまでかかるのか。

答 9月30日に新役員と会い、再発防止策の確認をし、信頼回復に努めるよう指導。再発防止策を盛り込み、2月を目途に会則の見直しを行う予定。

虚偽の病気休暇届を出して、再就職活動をした職員について

問 虚偽の病気休暇届を出し、勤務をサボり、再就職活動をして退職した職員の給料、退職金(虚偽期間)の返還請求をしないのはなぜか。その事実を知っているながら何もなかったのはなぜか。

答 条例に違反並びに違法的な手続を経て退職しているため、返還請求は困難。行動を起こさなかったということに対しては反省している。

詳しい内容は会議録をご覧ください